

# 憲法を守り・活かし・祝おう！

## = 5.3憲法フェスティバルを成功させよう =

### 第6回常任理事会報告

4月4日、第6回常任理事会が開催されました(11名)。中心議題は、5・3憲法フェスティバルを成功させるための平和委員会の役割と県大会への準備討議でした。以下、要旨を報告します。

#### < 5・3憲法フェスティバルについて >

1. 憲法フェスティバルを成功させるため、2面記載のとおり各平和委員会(平和の会)にお願いする参加者・個人及び団体賛同者数の実現目標を常任理事会で話し合いました。各平和委員会でも討議していただき目標を上回るようご奮闘をお願いします。

12日から宣伝カーが走ります。19日午前10時から水戸地域でポスター貼りだし、午後2時から水戸市民会館で実行委員会が開催されます。ぜひご参加を。

2. 参加者数については他団体や「9条の会」のメンバーとダブると思います。ダブった数字で結構です。要は各町

村からどの位参加があり、平和委員会がどの位努力出来たのかがお互いに分かり、今後の地域での共同行動に生かしていくことにあります。

当日は各ブロックごとにそれぞれブルーシートを敷いて楽しく交流してください。

3. 個人賛同については、当日参加出来ない人にも大いに賛同していただきます。1口・1000円ですが、それ以下でも結構です。また、余裕のある方には1口以上をお願いしてください。団体賛同(1口・3000円)については各平和委員会から1口賛同していただく事をお願いしました。茨城新聞・常陽新聞へ半ページの意見広告を今回掲載する事になり、その分賛同費から賄う事にしています。

4. 戦争体験を聞くコーナーの運営・司会を水野・加藤さん。「茨城の15年戦争」パネル展示担当は宣伝委員会の松原・稲田・川又さんと藤田さん。「9条の会」交流

## 歓迎!!新入会員のみなさんです

ともに平和の声を大きく広めていきましょう

渡辺 ちづ子さん(取手市)

中嶋 貞夫さん(取手市)

小原 すみ子さん(水戸市)

○ 佐藤 正弘さん(大子町)

秋山 さよ子さん(那珂市)

☆新読者 中山 熙之さん(阿見町)

各平和委員会・平和の会からの仲間づくりをおまわしています。

会コーナー担当には平和委員会から人見・藤田・稲田・川又さんにそれぞれお願いしました。

#### < 09年度県大会について >

1. 次期役員については4月4日までに各平和委員会からの推薦をお願いしましたが、余りなかったため代表理事・常任理事・事務局長・会計監査については引き続き事務局が中心となって4月25日の理事会にはかれるようにしていきます。理事については各平和委員会の推薦で決めていただきます。

2. 08決算・09予算については理事会までに財政担当者として事務局が提案できるよう準備します。

3. 活動のまとめと09年度の運動方針の骨子について討議しましたが、まだ議論不十分なところなので理事会でさらに討議していきます。以上



## 平和に、くらしに、生かそう 憲法

5月3日(日)10時開場 水戸市 千波湖畔 はなみずき広場 入場無料

< 午前の部 語り合いの広場 > 10時半～12時半  
☆雇用とくらしなんでも広場 ☆若者しゃべり場  
☆戦争体験を聴く ☆9条の会交流会

< 昼休み 音楽の広場 > 12時半～1時半  
♪高校生ジャズバンド演奏 ♪うたごえ合唱団  
♪ヒューマンファーマーズ

< 午後の部 憲法と政治を語る > 1時半～3時半  
○講演「人が壊れていく職場」 笠山尚人さん(弁護士)  
○トーク「デタラメ政治を斬る！」松崎菊也さん(脚本家)

< 企画広場 >  
◇パネル展「茨城の15年戦争」 ◇こどもの広場  
◇模擬店 ◇産直野菜 ◇フリーマーケット 等々

主催：2009年 憲法フェスティバル実行委員会

## 平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

No.529  
月3回発行  
2009.4.5



## 5・3 憲法フェスティバル 参加要請

	参加者数	個人賛同
1 北茨城	5	5
2 美和・緒川	15	10
3 日立	10	5
4 太田	15	10
5 大宮	10	10
6 東海	15	10
7 ひたちなか	10	5
8 那珂	15	10
9 水戸西	20	10
10 水戸南	10	10
11 花だいこん	5	10
12 はばたき	5	10
13 内原・友部	15	20
14 笠西	10	10
15 鹿行	20	15
16 潮来役場	10	10
17 池貝	3	3
18 石岡	15	20
19 八郷	5	5
20 百里	5	5
21 土浦	20	20
22 阿見	10	15
23 つくば	.	.
24 守谷	5	5
25 つくばみらい	5	5
26 荳崎	5	5
27 竜ヶ崎	.	.
28 美浦	.	.
29 藤代	10	10
30 取手	10	10
31 下館	10	10
32 結城	10	10
33 さかい		10
34 古河・総和	5	10
35 五霞	5	10
	<u>313</u>	<u>313</u>

学習の広場

## 核兵器廃絶署名の元祖、

## ストックホルムアピール

今日、日本・世界で広く運動が取り組まれている核兵器廃絶署名の走りは1950年3月にストックホルムから全世界に呼びかけられたのが最初です。49年3月に第1回「世界大会」がパリとプラハで開かれ、第2回世界大会を50年11月に開催する事が決まりました。その執務を行うために「委員会」が設置されます。その3回目の会合でストックホルムで開かれ急遽発せられたのです。それは戦後平和運動にとってどんな意義があったのでしょうか。いくつかさぐってみたいと思います。

### 全世界によびかけたストックホルムアピール

1. わたしたちは人類に対する威嚇と大量殺りくの武器である原子兵器の絶対禁止を要求します。
2. わたしたちはこの禁止を保証する厳重な国際管理の確立を要求します。
3. わたしたちはどんな国であっても最初に原子力を使用する政府は、人類に対する犯罪行為を犯すものであり、その政府は戦争犯罪人として取り扱います。
4. わたしたちは全世界のすべての良心ある人々に対し、このアピールに署名するよう訴えます。

1950年3月19日 スtockホルムにて

1. 第2次大戦の傷も癒えない状況にあって米ソ対決が激しくなり、それは1948年のベルリン封鎖、50年の朝鮮戦争勃発となって現実化してきます。このような事がインドシナ半島、東欧、アジア、アフリカ世界各地で起こり、それは米ソの代理戦争の様相を呈してきます。「もう平和問題や国際政治を米ソ大国に任せておくことはできない。」「平和は自ら勝ち取らねばならない。」と戦争を憎み平和を望む人々は立ち上がりました。それは前回の報告(2/25号)第1回平和擁護世界大会となりました。言わば世界平和闘争宣言ともいべきものでした。その具体的な運動開始の第1弾が今回のストックホルムアピールです。

2. 当時、ジョリオ・キュリーらが考えていたのは、①第

## 講演「治安維持法と茨城の作家たち」

3.15/4.16 弾圧事件記念集会

と き 4月18日(土)午後1時半～

ところ 県民文化センター 資料代：500円

講師 奈良達雄さん(文芸評論家)

主催 3.15/4.16 弾圧事件記念集会実行委員会

Tel 029-253-1214

3次世界を起こさしてはならない。②絶対に広島・長崎の原爆悲劇を繰り返してはならない。③そのためには大国にたよってはダメだ。世界の人々、一人ひとりが声をあげ行動を起こさねばならない。そのためには誰でもが簡単に意思表示でき・参加出来・広められる、そして多くの連帯を生み出し大国の手足を縛る力とならねばならない。そこで知恵を出し合い生み出されたのが「署名運動」というこれまでなかった最も簡単な方法だったので。早くも字の書けない人は手形で署名したので。

3. よびかけに応じて世界各国の人々は瞬く間に5億余筆の署名を勝ち取ったのです。この力は、朝鮮戦争でアメリカ大統領トルーマンが原爆使用を言明しているのを、急遽イギリス首相と会談し原爆投下を放棄させたのです。日本でもレッドパージ・朝鮮戦争下でしかも占領下という厳しい状況で最終的には645万5009筆を実現できたのです。特に朝鮮人の人々の奮闘が大きかったとよく言われますが、具体的にどこで、どんな方法で活動したのかを全国各地で調べることは大きな平和運動の財産を発掘する事になり、私たちの地域運動に大きな励みとなると思います。

4. このストックホルムアピールに対して当時の日本の平和・民主勢力は正しく評価できなかったのです。そこには原爆に対する理解や国際的連帯への不充分さがあったのです。「世界大会委員会」からの2度にわたる「批判的勧告」を受け、国際連帯に立ち上がったのです。そしてそのエネルギーは1954年3月1日(後の3・1ピキニデー)を契機に東京杉並区から署名運動が始まりその年の12月には2000万筆に達し、翌年の第1回原水爆禁止世界大会に発展していくのです。

詳しくは次回で報告。